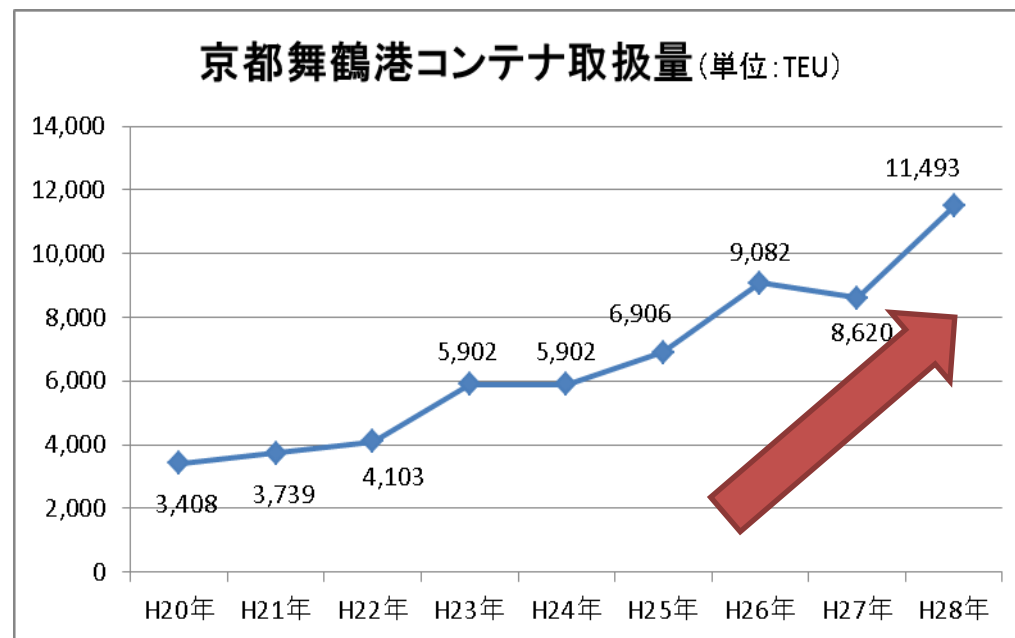
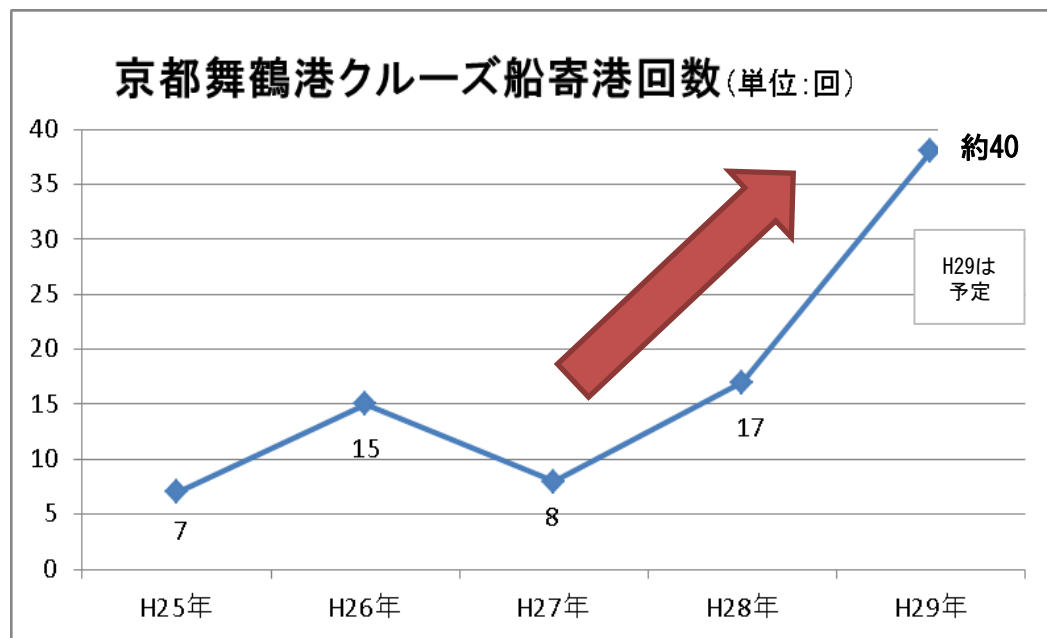


# マスタープラン策定の背景について

---

# 京都舞鶴港の状況

- クルーズ船寄港回数 約40回(予定、平成29年度)  
平成27年度比 5倍
- コンテナ貨物取扱量 約11,500TEU (平成28年)  
平成20年度比 3.5倍



# 京都舞鶴港エネルギークラスター化

- 再生可能エネルギーの発電施設やLNGインフラの整備等による京都舞鶴港のエネルギークラスター化を促進するため、再生可能エネルギー発電施設の誘致に向け、府が補助金による支援を実施。
- 平成28年12月には、舞鶴市内に工場を有する林ベニヤ産業(株)が端材等を有効活用する木質バイオマス発電施設の建設を表明。（6.8 MW、平成32年稼働予定）

## 京都舞鶴港エコ・エネルギー拠点整備促進事業費補助金

### ○補助要件

対象地域	舞鶴港の臨港地区及びその周辺の区域
対象事業者	バイオマス、風力等の再生可能エネルギー源（太陽光を除く。）による発電設備の新設又は増設をし、発電を事業として行う事業者
対象要件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・投下固定資産額等が3億円以上であること。</li> <li>・新規府内常用雇用数が3人以上であること。</li> <li>・発電設備についてFIT認定（固定価格買取制度の認定）を受けていること。</li> <li>・発電設備の出力が1,000kW以上であること。</li> <li>・この補助金を受けたことがないこと。</li> </ul>

### ○補助金額等

補助金区分	補助率・補助額	交付限度額
再エネ発電所設置等促進補助金	(投下固定資産額等※) × 10%	1億円
府内常用雇用促進補助金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(障害者の新規雇用者数) × 50万円</li> <li>・(正規雇用者の新規雇用者数) × 40万円</li> <li>・(その他雇用者の新規雇用者数) × 10万円</li> </ul> ⇒機業開始年度から5年間、毎年度交付	1億円 (5年間の累計額)

木質バイオマス発電  
舞鶴に関西最大級施設

大阪の企業、府内初



木質バイオマス発電施設が、舞鶴市内に建設されると、今後、大阪府内では初めて、出力は6800kWで一般家庭約1万5千世帯の年間消費電力を賄える。2018年に竣工し、20年4月の運転開始を予定している。

大阪府の企業、府内初の木質バイオマス発電施設が、舞鶴市内に建設されると、今後、大阪府内では初めて、出力は6800kWで一般家庭約1万5千世帯の年間消費電力を賄える。2018年に竣工し、20年4月の運転開始を予定している。

大阪府の企業、府内初の木質バイオマス発電施設が、舞鶴市内に建設されると、今後、大阪府内では初めて、出力は6800kWで一般家庭約1万5千世帯の年間消費電力を賄える。2018年に竣工し、20年4月の運転開始を予定している。

大阪府の企業、府内初の木質バイオマス発電施設が、舞鶴市内に建設されると、今後、大阪府内では初めて、出力は6800kWで一般家庭約1万5千世帯の年間消費電力を賄える。2018年に竣工し、20年4月の運転開始を予定している。

平成28年12月21日京都新聞

# マスタープラン策定趣旨

- 再生可能エネルギー等のエネルギー源を、EMS等で省エネルギー化を進めた港湾施設や観光施設で使用し、IoTを活用したスマートな港としての整備を目指し、環境・港湾・観光分野にまたがる総合的な計画を策定。

## 京都舞鶴港「スマート・エコ・エネルギーポート」

～ 地域と共生し、エネルギー自立による日本最先端のエコ・エネルギー港を目指して ～



### 整備内容(例)

- スマートなおもてなし
  - ・EVレンタカーを活用した観光
  - ・WiFiを取り入れたスマートライトと観光情報提供
  - ・最新の省エネや再エネを利用したスマートターミナルの開設
- スマートエコ物流
  - ・停泊船舶への再エネ電力供給
  - ・バイオマス発電の排熱利用による冷蔵、定温施設のエコ化
  - ・ハイブリット型荷役機械の導入

# エネルギーの観点から見た京都舞鶴港振興

## 京都舞鶴港のエネルギークラスター化(府)

京都舞鶴港のエネルギークラスター化を通じた地域創生

- ・舞鶴-三田間の広域ガスパイプライン整備、LNG基地誘致等に向けた兵庫県との研究会の実施(H27年度～)。
- ・LNG基地やLNG発電所の整備実現に向けた調査業務の委託(H29年度)

## 地域エネルギーサービス事業体(府) (シュタットベルケ)

エネルギーの地産地消による地域経済の循環

- ・府北部市町との事業体設立に向けた勉強会の開催(H29年度)
- ・最適な事業化に向けた検討

## 京都舞鶴港 マスタープラン

## 赤れんが周辺等まちづくり事業(舞鶴市)

- ・観光戦略拠点である「赤れんがパーク」を中心に、周辺一帯を日本有数の一大交流拠点とするため、「赤れんが周辺等まちづくり基本計画」を策定。(H28年度)
- ・今年度、民間活力導入調査、実施計画策定業務を委託予定。(公募中)

## 京都舞鶴港の将来像の検討

人・もの・エネルギーのゲートウェイとしての持続的な発展を目指し、北部企業等と連携して、舞鶴港の貨物増加策や観光、地域活性化策等について検討。

# マスタープラン策定スケジュール

平成29年8月4日  
第1回検討会議

- ・ マスタープラン骨子確認

平成29年8月～10月  
各種調査

- ・ 先進地調査
  - ・ 府民・事業者へのアンケート調査（郵送・WEB）
  - ・ 地元関連事業者等へのヒアリング
- ※検討会議以外にも個別テーマごとに各委員の皆様にご意見をお伺いしたいと考えております。

平成29年10月  
第2回検討会議

- ・ 中間とりまとめについて

平成29年10月

- ・ 住民ワークショップ開催

平成30年1月  
第3回検討会議

- ・ マスタープラン最終案について

平成30年2月

- ・ マスタープラン策定